

安全データシート

EXAMPLE

項目 1: 物質/製剤および会社/企業の特定

1.1 製品識別子

製品名

EXAMPLE

1.2 推奨用途及び使用上の制限

物質または混合物で関連の特定使用

希釈剤

▼対提言使用



処理分類	説明
PROC7	工業環境の噴霧

1.3 安全データシートの供給業者の詳細

会社と住所

Only Fictive Chemicals Inc.

Chemical Street 101

2020 Everywhere

Planet Earth

tel: +45 7240 1622

www.almego.com

電子メール

info@chymeia.com

SDS 日付

2022/08/03

SDS バージョン

3.0

前作成日

2022/07/22 (2.0)

1.4 緊急連絡用電話番号 (受付時間)

緊急時には119 (24時間サービス) に電話すること

公益財団法人 日本中毒情報センター: +81-72-727-2499

項目4を参照: 応急措置

項目2: 危険有害性の要約

▼2.1 物質または混合物の分類

Flam. Liq. 3; H226, 引火性の液体および蒸気。

Asp. Tox. 1; H304, 飲み込んで気道に侵入すると生命に危険のおそれ。

Skin Irrit. 2; H315, 皮膚刺激。

STOT SE 3; H336, 眠気やめまいのおそれ。

Aquatic Acute 1; H400, 水生生物に強い毒性。

Aquatic Chronic 1; H410, 長期的影響により水生生物に非常に強い毒性。

2.2 ラベル要素

▼危険有害性の絵文字



注意喚起語

危険

▼危険有害性情報

JIS Z 7253:2019 による

引火性の液体および蒸気。(H226)
 飲み込んで気道に侵入すると生命に危険のおそれ。(H304)
 皮膚刺激。(H315)
 眠気やめまいのおそれ。(H336)
 長期的影響により水生生物に非常に強い毒性。(H410)

注意書き

概要

-

安全対策

保護眼鏡/保護手袋/保護衣着用すること。(P280)
 取扱後は手と皮膚のばく露部をよく洗うこと。(P264)

応急措置

飲み込んだ場合:直ちに中毒センター/医師に連絡すること。(P301+P310)
 無理に吐かせないこと。(P331)

保管

換気の良い場所で保管すること。涼しいところに置くこと。(P403+P235)

廃棄

内容物/容器を承認された廃棄物処理プラントへに廃棄すること。(P501)

▼危険有害性成分

Solvent naphtha (petroleum), light arom
 n-butyl acetate

2.3 その他の危険有害性

追加ラベル付け

該当なし

他の危険有害性

この混合物/製品には、PBTまたはvPvB、もしくはその両者として分類される基準を満たすと考慮される物質は含まれていない。

項目3: 組成及び成分情報

▼混合物

製品 / 成分	識別子	% w/w	分類	注記
Zinc oxide	CAS番号: 1314-13-2 EC番号: 215-222-5	40-60%	Aquatic Acute 1, H400 (M=1) Aquatic Chronic 1, H410 (M=1)	
Solvent naphtha (petroleum), light arom	CAS番号: 64742-95-6 EC番号: 265-199-0	≥10 - ≤25%	Flam. Liq. 3, H226 Asp. Tox. 1, H304 Skin Irrit. 2, H315 STOT SE 3, H336 Aquatic Chronic 2, H411	[19]
Xylene	CAS番号: 1330-20-7 EC番号: 215-535-7	≥25 - ≤50%	Flam. Liq. 3, H226 Acute Tox. 4, H312 Skin Irrit. 2, H315 Acute Tox. 4, H332	
n-butyl acetate	CAS番号: 123-86-4 EC番号: 204-658-1	≥25 - ≤50%	Flam. Liq. 3, H226 STOT SE 3, H336	

セクション16のHフレーズの全文を参照のこと。職業ばく露限界は利用可能な場合は、セクション8に記載されている。

その他の情報

[19] UVCB = Unknown or variable composition, complex reaction products or of biological materials

項目4: 応急措置

4.1 応急処置の解説

一般情報

事故の場合: 医師または緊急部門に連絡すること - ラベルまたはこの安全データシートを持参する。
 被害者の状態に疑問がある場合、または症状が継続する場合は、医師に連絡すること。絶対に意識不明の人に水やその

他の飲み物を与えないこと。

吸入した場合

呼吸困難や気道を刺激した場合：被害者が新鮮な空気を吸える場所に移動し、一緒に付き添う。

皮膚に付着した場合

汚染された衣類や靴を直ちに取り除くこと。必ずばく露した皮膚を水と石鹸で十分に洗う。皮膚清拭剤も使用できる。

溶剤やシンナーは絶対に使用しない。

皮膚刺激が生じた場合:医師の診察/手当てを受けること。

眼に入った場合

目を刺激した場合：コンタクトレンズを取り外し、目を広く開くこと。水または食塩水（20～30℃）で少なくとも5分間、目を洗うこと。医師と相談し、搬送中にも続けて洗うこと。

飲み込んだ場合

飲み込んだ場合:直ちに中毒センター/医師に連絡すること。

絶対に嘔吐を誘発しないこと！嘔吐をもよおしたら、肺に入らないように頭を下に向けること。医者が救急車を呼ぶこと。化学性肺炎の症状は数時間後に現れることがある。したがって、製品を飲み込んだ人は、少なくとも48時間以上医療上の処置を受けるべきである。

やけど

痛みがなくなるまで水ですすぎ、さらに30分間すすぐ。

4.2 重大な症状と作用の大部分には、急性および遅延性の両方がある

飲み込んで気道に侵入すると生命に危険のおそれ。化学性肺炎の症状は数時間後に現れる可能性がある。

刺激反応：この製品には、皮膚、目、肺へのばく露時に刺激を起こす可能性のある物質が含まれている。ばく露は、ばく露の部分における他の有害物質の吸収ポテンシャルを増やす可能性がある。

神経毒性作用：この製品には有機溶剤が含まれており、神経系に悪影響を及ぼす可能性がある。神経毒性の症状としては、食欲不振、頭痛、めまい、耳鳴り、肌のヒリヒリ感、寒さに対して敏感、けいれん、集中困難、疲労などがある。繰り返して溶剤にばく露すると、皮膚の自然な脂肪層が破壊され、ばく露の部分における他の有害物質の吸収ポテンシャルを増やす可能性がある。

4.3 何らかの即時の手当および特別な治療が必要とされることの表示

ばく露またはばく露の懸念がある場合:

直ちに医師に診察/手当てを受けること。

医師に対する特別な注意事項

この安全データシートを持参のこと。

項目5: 火災時の措置

5.1 消火剤

適切：耐アルコール泡、炭酸、粉末、水ミスト。

不適切：ウォータージェットは火を広げる可能性があるため、使用してはならない。

5.2 物質または混合物から生じる特別な危険有害性

火は濃い煙をもたらす。燃焼製品にさらされると、健康に害を及ぼす可能性がある。火にさらされた密閉容器は、水で冷却するべきである。絶対に、消火水が下水や近くの地表水に入らないようにする。

例えば火災など製品が高温にさらされた場合、危険な分解化合物が生成される。これらは次がある：

酸化炭素 (CO / CO₂)。

5.3 消防士に対する助言

接触を防ぐために、自給式呼吸装置と防護服を着用すること。直接ばく露した場合は、引き続き助言を得るために緊急サービス（119）に連絡すること。

項目6: 漏出時の措置

6.1 人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

まだ引火されていない保管物は水ミストで冷却する必要がある。条件が可能であれば、可燃性の物質を取り除くこと。十分な換気を行うこと。

流出した物質との直接接触は避けること。

流出物質からの蒸気を吸入しないこと。

6.2 環境に対する注意事項

湖、小川、下水道などへの排出を避けること。周辺への漏れが発生した場合は、地域の環境当局に連絡すること。

6.3 封じ込め及び浄化の方法及び機材

地方規制に従って、砂、土壌、パーミキュライト、珪藻土を使用して、不燃性吸収物質を収容・収集し、廃棄用の容器に入れる。

洗浄は可能な限り、通常の洗浄剤で行う。溶剤の使用は避けること。

6.4 他のセクションを参照

廃棄物取り扱いの追加情報に関してはセクション13を参照。

適切な個人保護装置に関する情報についてはセクション8を参照。

項目7: 取扱い及び保管上の注意

7.1 安全に取扱うための注意事項

- 容器を接地しアースを取ること
- 防爆型の【電気機器/照明機器/換気装置】を使用すること。
- 火花を発生させない工具を使用すること。
- 静電気放電に対する措置を講ずること。
- 廃水システムや周辺環境への排出を防ぐために、廃棄物収集トレイを設置することを推奨する。
- 製品との直接接触は避けること。
- 作業場での喫煙、飲酒、食べ物の摂取は禁止する。
- 作業者保護に関する情報については、「ばく露制御/個人保護」のセクションを参照のこと。

7.2 あらゆる配合禁忌を含む、安全な保管条件

- 開封した容器は、漏れを防ぐために慎重に再び封じ、直立で保管する必要がある。
- 静電気放電に対する措置を講ずること。
- 必ず発火の可能性のある場所から離れて、涼しく、換気の良い領域に保管すること。

推奨保管材料

- 他の容器に移し替えないこと。

保存温度

- 乾燥、涼しい、十分な換気

混触危険物質

- 可燃性物質

7.3.特定の最終用途

- この製品はセクション1.2で引用した応用のみに使用しなければならない。

項目8: ばく露防止及び保護措置

▼8.1 許容濃度

Zinc oxide

長期ばく露制限（8時間）(mg/m³):

Xylene

長期ばく露制限（8時間）(mg/m³):
長期ばく露制限（8時間）(ppm): 50

n-butyl acetate

長期ばく露制限（8時間）(mg/m³):
長期ばく露制限（8時間）(ppm): 100

許容濃度等の勧告（2021年度）, 2021年5月18日 日本産業衛生学会

▼DNEL

n-butyl acetate

存続期間	暴露経路	DNEL
短期間・一・全身効果・一・一般人口	吸入	300 mg/m ³
短期間・一・全身効果・一・労働者	吸入	600 mg/m ³
短期間・一・局所効果・一・一般人口	吸入	300 mg/m ³
短期間・一・局所効果・一・労働者	吸入	600 mg/m ³
長期間・一・全身効果・一・一般人口	吸入	12 mg/m ³
長期間・一・全身効果・一・労働者	吸入	48 mg/m ³
長期間・一・全身効果・一・労働者	吸入	300 mg/m ³
長期間・一・局所効果・一・一般人口	吸入	35.7 mg/m ³
短期間・一・全身効果・一・一般人口	皮膚	6 mg/kg/日

JIS Z 7253:2019 による

短期間・一・全身効果・一・労働者	皮膚	11 mg/kg/日
長期間・一・全身効果・一・一般人口	皮膚	3.4 mg/kg/日
長期間・一・全身効果・一・労働者	皮膚	7 mg/kg/日
短期間・一・全身効果・一・一般人口	経口	2 mg/kg/日
長期間・一・全身効果・一・一般人口	経口	2 mg/kg/日

Solvent naphtha (petroleum), light arom

存続期間	暴露経路	DNEL
短期間・一・全身効果・一・一般人口	吸入	1152 mg/m ³
短期間・一・全身効果・一・労働者	吸入	1286.4 mg/m ³
短期間・一・局所効果・一・一般人口	吸入	640 mg/m ³
短期間・一・局所効果・一・労働者	吸入	1066.67 mg/m ³
長期間・一・全身効果・一・一般人口	吸入	410 µg/m ³
長期間・一・全身効果・一・労働者	吸入	1.9 mg/m ³
長期間・一・全身効果・一・労働者	吸入	837.5 mg/m ³
長期間・一・局所効果・一・一般人口	吸入	178.57 mg/m ³

Xylene

存続期間	暴露経路	DNEL
短期間・一・全身効果・一・一般人口	吸入	260 mg/m ³
短期間・一・全身効果・一・労働者	吸入	442 mg/m ³
短期間・一・局所効果・一・一般人口	吸入	260 mg/m ³
短期間・一・局所効果・一・労働者	吸入	442 mg/m ³
長期間・一・全身効果・一・一般人口	吸入	65.3 mg/m ³
長期間・一・全身効果・一・労働者	吸入	221 mg/m ³
長期間・一・全身効果・一・労働者	吸入	221 mg/m ³
長期間・一・局所効果・一・一般人口	吸入	65.3 mg/m ³
長期間・一・全身効果・一・一般人口	皮膚	125 mg/kg/日
長期間・一・全身効果・一・労働者	皮膚	212 mg/kg/日
長期間・一・全身効果・一・一般人口	経口	12.5 mg/kg/日

Zinc oxide

存続期間	暴露経路	DNEL
長期間・一・全身効果・一・労働者	吸入	5 mg/m ³
長期間・一・全身効果・一・労働者	吸入	500 µg/m ³
長期間・一・全身効果・一・労働者	皮膚	83 mg/kg/日

▼PNEC (予測無影響濃度)

n-butyl acetate

暴露経路	ばく露期間	PNEC
下水処理場		35.6 mg/L

JIS Z 7253:2019 による

土壌	90.3 µg/kg
断続的なリリース (真水)	360 µg/L
海洋水	18 µg/L
海洋水堆積物	98.1 µg/kg
淡水堆積物	981 µg/kg
真水	180 µg/L

Xylene

暴露経路	ばく露期間	PNEC
下水処理場		6.58 mg/L
土壌		2.31 mg/kg
断続的なリリース (真水)		327 µg/L
海洋水		327 µg/L
海洋水堆積物		12.46 mg/kg
淡水堆積物		12.46 mg/kg
真水		327 µg/L

Zinc oxide

暴露経路	ばく露期間	PNEC
下水処理場		100 µg/L
土壌		35.6 mg/kg
海洋水		6.1 µg/L
海洋水堆積物		56.5 mg/kg
淡水堆積物		117.8 mg/kg
真水		20.6 µg/L

8.2 暴露の管理

所定の職業ばく露限界値への準拠は、定期的に制御しなければならない。

一般的な推奨事項

作業場での喫煙、飲酒、食べ物の摂取は禁止する。

ばく露シナリオ

"この製品にはばく露シナリオは実装されていない。

暴露限界値

プロの利用者は職業ばく露のために法的に設定された最大濃度が対象になる。上記の労働衛生限界値を参照のこと。

適切な技術的管理

蒸気の発生を最小にして、電流を制限値以下に保つ必要があります（上記を参照）。作業室内で通常の空気の流通が十分でない場合、局所排気システムを設置することをお勧めします。緊急洗眼液に明確にマークが付いていることを確認します。

衛生対策

汚染された衣類を脱ぎ、再使用す場合には洗濯をすること。

環境暴露管理

職場の近くにせき止め材を保管すること。可能であれば、作業中にこぼれたものを収集すること。

個人の保護措置

一般的

CEマークが付いた保護具のみを使用すること。

呼吸用保護具

JIS Z 7253:2019 による

推奨フィルタの種類	クラス	クラス	標準
A	クラス 1 (低容量)	茶色	EN14387



身体保護具

推奨	タイプ / カテゴリ	標準
Tyvek®	5, 6 / III	EN1149-1



手の保護具

材料	手袋の厚さ (mm)	破過時間 (分)	標準
ニトリルゴム、	0.4	> 480	EN374-2, EN374-3, EN388



保護眼鏡/保護面

推奨	標準
サイドシールド付き安全メガネ	EN166



項目9: 物理的及び化学的性質

9.1 基本的な物理学および化学的特性に関する情報

物理的状

液体

色

無色

臭い

溶剤

臭気しきい値 (ppm)

利用可能なデータなし

pH

利用可能なデータなし

比重 (g/cm³)

0,881

粘度

<0,07 cm²/s (40 °C)

フェーズの変更

融点・凝固点 (°C)

-99

沸点/沸騰範囲 (°C)

利用可能なデータなし

蒸気圧

1.5 kPa (20 °C)

蒸気密度

利用可能なデータなし

分解温度 (°C)

利用可能なデータなし

蒸発速度

火災および爆発の危険性に関するデータ

引火点 (°C)

25

JIS Z 7253:2019 による

引火性 (°C)

利用可能なデータなし

自然発火温度 (°C)

利用可能なデータなし

爆発 (燃焼) 限界の上限および下限 (% v/v)

0.8 - 7.6

爆発性

利用可能なデータなし

酸化的性質

利用可能なデータなし

溶解度

水中の溶解度

利用可能なデータなし

分配係数 (LogKow)

利用可能なデータなし

脂肪の溶解度 (g/L)

利用可能なデータなし

9.2 その他の情報

▼揮発性有機化合物(VOC)

530

項目10: 安定性及び反応性

10.1 反応性

利用可能なデータなし

10.2 化学的安定性

製品は「取り扱いと保管」のセクションに記載されている条件下で安定している。

10.3 危険有害反応可能性

特になし

10.4 避けるべき条件

静電気を避けること。

絶対にかかなる形態の熱（例えば太陽熱）にもさらさないこと。過剰な圧力につながる可能性がある。

10.5 混触危険物質

可燃性物質

10.6 危険有害な分解生成物

セクション1で指定したとおりに使用した場合、製品の劣化は生じない。

項目11: 有害性情報

11.1 毒物学的作用に関する情報

▼急性毒性

製品 / 成分	Xylene
試験方法	OECD 403
種類	ラット, Brown Norway, 雌/オス
暴露経路	吸入
テスト	LC50 (4 時間)
結果	6350 ppm
その他の情報	

製品 / 成分	Xylene
試験方法	OECD 402
種類	ウサギ, New Zealand White, 雌/オス
暴露経路	皮膚
テスト	LD50
結果	>4200 mg/kg
その他の情報	

製品 / 成分	Xylene
---------	--------

JIS Z 7253:2019 による

試験方法	OECD 401
種類	ラット, Brown Norway, 雌/オス
暴露経路	経口
テスト	LD50
結果	3523 mg/kg
その他の情報	

製品 / 成分	n-butyl acetate
試験方法	OECD 403
種類	ラット, Brown Norway, 雌/オス
暴露経路	吸入
テスト	LC50 (4 時間)
結果	>21 mg/L
その他の情報	

製品 / 成分	n-butyl acetate
試験方法	OECD 401
種類	ウサギ, Albino Himalaya, 雌
暴露経路	皮膚
テスト	LD50
結果	>14112 mg/kg
その他の情報	

製品 / 成分	n-butyl acetate
試験方法	OECD 401
種類	ラット, Brown Norway, 雌/オス
暴露経路	経口
テスト	LD50
結果	10768 mg/kg
その他の情報	

刺激性/腐食性

製品 / 成分	n-butyl acetate
試験方法	OECD 404
種類	ウサギ, New Zealand White, 雌/オス
存続期間	24 時間
結果	副作用が認められる (中程度の刺激がある)
その他の情報	

皮膚刺激。

▼重篤な眼の損傷/刺激

製品 / 成分	Xylene
試験方法	OECD 405
種類	ウサギ, New Zealand White, 雌
存続期間	24 時間
結果	副作用は認められない (刺激しない)
その他の情報	

製品 / 成分	n-butyl acetate
試験方法	OECD 405
種類	ウサギ, New Zealand White, 雌/オス
存続期間	3 時間
結果	副作用は認められない (刺激しない)
その他の情報	

呼吸器感作

使用可能なデータを基にすると、分類基準が満たされていません。

皮膚感作

使用可能なデータを基にすると、分類基準が満たされていません。

変異原性

使用可能なデータを基にすると、分類基準が満たされていません。

発がん性

使用可能なデータを基にすると、分類基準が満たされていません。

Xylene: 物質はIARCでグループ3に分類されている。

催奇形性 / 発育への影響

使用可能なデータを基にすると、分類基準が満たされていません。

特定標的臓器 / 全身毒性 (単回暴露)

眠気やめまいのおそれ。

特定標的臓器 / 全身毒性 (反復暴露)

使用可能なデータを基にすると、分類基準が満たされていません。

呼吸に対する危険有害性

飲み込んで気道に侵入すると生命に危険のおそれ。

健康への慢性効果の可能性

刺激反応：この製品には、皮膚、目、肺へのばく露時に刺激を起こす可能性のある物質が含まれている。ばく露は、ばく露の部分における他の有害物質の吸収ポテンシャルを増やす可能性がある。

神経毒性作用：この製品には有機溶剤が含まれており、神経系に悪影響を及ぼす可能性がある。神経毒性の症状としては、食欲不振、頭痛、めまい、耳鳴り、肌のヒリヒリ感、寒さに対して敏感、けいれん、集中困難、疲労などがある。繰り返して溶剤にばく露すると、皮膚の自然な脂肪層が破壊され、ばく露の部分における他の有害物質の吸収ポテンシャルを増やす可能性がある。

項目12: 環境影響情報**▼12.1 毒性**

製品 / 成分	Solvent naphtha (petroleum), light arom
試験方法	OECD 201
種類	藻類, <i>Pseudokirchneriella subcapitata</i>
環境	真水
存続期間	96 時間
テスト	EC50
結果	19 mg/L
その他の情報	

製品 / 成分	n-butyl acetate
試験方法	OECD 201
種類	藻類, <i>Scenedesmus quadricauda</i>
環境	真水
存続期間	72 時間
テスト	EC50
結果	648 mg/L
その他の情報	

製品 / 成分	n-butyl acetate
試験方法	OECD 202
種類	ミジンコ類, <i>Daphnia magna</i>
環境	真水
存続期間	48 時間
テスト	EC50
結果	44 mg/L
その他の情報	

▼12.2 残留性・分解性

製品 / 成分	Solvent naphtha (petroleum), light arom
生分解性	はい
試験方法	OECD 301 A

JIS Z 7253:2019 による

結果	>70%
----	------

製品 / 成分	Xylene
生分解性	はい
試験方法	OECD 301 D
結果	>60%

製品 / 成分	n-butyl acetate
生分解性	はい
試験方法	OECD 301 D
結果	80%

▼12.3 生体蓄積性

製品 / 成分	Solvent naphtha (petroleum), light arom
試験方法	
潜在的な生体蓄積性	はい
LogPow	利用可能なデータなし
BCF	4
その他の情報	

製品 / 成分	Xylene
試験方法	OECD 315
潜在的な生体蓄積性	はい
LogPow	8,1 - 25,9
BCF	3.12
その他の情報	

製品 / 成分	n-butyl acetate
試験方法	OECD 317
潜在的な生体蓄積性	利用可能なデータなし
LogPow	2,3
BCF	3.1
その他の情報	

12.4 土壌中の移動性

利用可能なデータなし

12.5.PBTおよびvPvB評価の結果

この混合物/製品には、PBTまたはvPvB、もしくはその両者として分類される基準を満たすと考慮される物質は含まれていない。

12.6 その他の悪影響

この製品には、環境に有害な物質が含まれている。水生生物に悪影響を及ぼす可能性がある。本製品には水生環境に長期的な悪影響を及ぼす可能性がある物質が含まれている。

項目13: 廃棄上の注意

13.1 廃棄物処理方法

内容物/容器をに廃棄すること。

特定のラベル

該当なし






汚染された包装

製品の残渣を含む包装は製品と同様に処分する必要がある。

項目14: 輸送上の注意



JIS Z 7253:2019 による

14.1 国連番号	14.2 輸送固有名	14.3 範疇	14.4 PG*	14.5 Env**	その他の情報
ADR UN1263	塗料関連物質	クラス 等級: 3 等級: 3 Classification code: F1  	III	はい	許容質量: 5 L ンネル制限コード: (E) 追加情報については、以下を参照してください。
IMDG UN1263	PAINT RELATED MATERIAL	Class: 3 Labels: 3 Classification code: F1  	III	はい	Limited quantities: 5 L EmS: F-E S-E 追加情報については、以下を参照してください。
IATA UN1263	PAINT RELATED MATERIAL	Class: 3 Labels: 3 Classification code: F1 	III	はい	追加情報については、以下を参照してください。

* 容器等級

** 環境有害性

追加情報

ADR / 輸送に関連した特別な規定、要求事項又は注意事項に関する情報については3.2.1項の表Aを参照して下さい。輸送中の事件又は事故によって生じた損傷の緩和に関する書面での説明については5.4.3項を参照して下さい。

IMDG / See the Dangerous Goods List, section 3.2.1, for any information on special provisions, requirements, or warnings in connection with transport.

IATA / See Table 4.2 for any information on special provisions, requirements, or warnings in connection with transport.

この製品は危険物の輸送規制範囲内である。

14.6 使用者のための特別な予防措置

該当なし

14.7 MARPOL条約の附属書IIおよびIBCコードによるばら積み運搬

利用可能なデータなし

項目15: 適用法令

15.1 物質または混合物ごとに個別に関連する、安全、健康および環境に関する規則/法律

応用の制限

産業用専用。

妊娠中の女性や授乳中の女性はこの製品にさらされないようにする必要がある。ばく露を排除する必要がある作業場のリスク、可能な技術的な予防措置または設計を考慮する必要がある。

特定教育に対する要求

特定の要件なし

その他の情報

該当なし

▼既存および新規化学物質 (ENCs)

Zinc oxide 既存および新規化学物質 (ENCs) のリストに記載されています。

Solvent naphtha (petroleum), light arom 既存および新規化学物質 (ENCs) のリストに記載されています。

Xylene 既存および新規化学物質 (ENCs) のリストに記載されています。

n-butyl acetate 既存および新規化学物質 (ENCs) のリストに記載されています。

毒物及び劇物取締法

JIS Z 7253:2019 による

どの化学成分も表示されていない。

有機溶剤中毒予防規則

ソース

有機溶剤中毒予防規則 (昭和四十七年労働省令第三十六号)
GHS に基づく化学品の分類方法. JIS Z 7252 (2019)

▼項目16: その他の情報

▼セクション3に記載のHフレーズ全文

H226, 引火性の液体および蒸気。
H304, 飲み込んで気道に侵入すると生命に危険のおそれ。
H312, 皮膚に接触すると有害。
H315, 皮膚刺激。
H332, 吸入すると有害。
H336, 眠気やめまいのおそれ。
H400, 水生生物に強い毒性。
H410, 長期的影響により水生生物に非常に強い毒性。
H411, 長期的影響により水生生物に毒性。

セクション1に記載の識別された使用の全文

特になし

略語と頭字語

ACGIH = アメリカ産業衛生専門家会議
ADN = ヨーロッパ内陸水路危険物運送規定
ADR = ヨーロッパ道路危険物運送条約
ATE = 急性毒性見積
BCF = 生物濃縮係数
CAS = ケミカル・アブストラクト・サービス
EINECS = 欧州既存商業化学物質リスト
GHS = 化学品の分類および表示に関する世界調和システム
IARC = 国際がん研究機関
IATA = 国際航空運送協会
IMDG = 国際海上危険物規程
LogPow = オクタノール/水分分配係数の対数
MARPOL = 1978年の議定書によって修正された1973年船舶による汚染防止のための国際条約
NIOSH = 国立労働安全衛生研究所
OECD = 経済協力開発機構
OSHA = 労働安全衛生局
RID = 鉄道による危険物の国際輸送に関する規制
RRN = REACH登録番号
SCL = には特定の濃度限界値 (SCL) がある。
STEL = 短期ばく露限界
STOT-RE = 特定標的臓器毒性 (反復ばく露)
STOT-SE = 特定標的臓器毒性 (単回ばく露)
TWA = 時間加重平均
UN = 国際連合
VOC = 揮発性有機化合物

追加情報

健康被害に関する混合物の分類はJISZ 7252の計算方法に従う。
環境の危険に関する混合物の分類はJISZ 7252の計算方法に従う。
物理的な危険に関する混合物の分類は、実験データに基づいている。

▼安全データシートは次により確認される

CHYMEIA

その他

変更 (最後の本質的な変更 (SDS バージョンの最初の文字、セクション1を参照) に対して) は、青い三角形で表示されている。
この安全データシートの情報はこの特定製品 (セクション1に記載) にのみ適用され、他の化学薬品/製品で使用する場合は必ずしも正しいものではない。
この安全データシートを、製品の実際の利用者に渡すことを推奨する。この安全データシートの情報は製品仕様としては使用できない。
国-言語: JP-ja